



# グリーンポトスニュース

93号：2005年6月

夏を思わせるような天候が続いています。ところで、6月5日にて、かめざわクリニックはお陰様で、9周年を迎えます。今後ともよろしくお願いいたします。今月の話題は『星状神経節ブロック』です。

## 星状神経節ブロック

ペインクリニックでは、様々な痛みを扱います。それぞれの症状にあわせて、神経ブロックを施行します。その数は、60種類以上にもなります。その数ある神経ブロックの中で、今日、もっとも多く行われているのは、星状神経節ブロックです。

星状神経節ブロックは、当初は頭痛や顔面神経麻痺などの治療に施行していききました。しかし、星状神経節ブロックをすることにより、数々の病気が治ることがわかってきました。少し大げさですが、200以上の病気が治ると言われています。星状神経節ブロックが有効な主な病気として、先述の他に、花粉症、アトピー性皮膚炎、自律神経失調症、突発性難聴、肩こり、上肢の血行障害、メニエール病、帯状疱疹後神経痛、生理痛などがあります。

では、なぜこのようにたくさんの病気に有効なのでしょう。神経ブロックは、その支配神経領域の血行を改善します。血液は、酸素といろいろな栄養素を運んできます。細胞組織の虚血状態を解消することで様々な病気を治すのです。



星状神経節ブロックは、肩と上肢のほか、頭部の血行つまり、脳の血行を改善します。脳は、ご存知のように自律神経系、免疫系、ホルモン系を支配しています。これらは、ストレスにより、バランスを崩してしまいます。星状神経節ブロックは、このバランスを崩した脳細胞の状態を修復するのです。

合併症としては、眼が重たくなったり、声がかすれたりします。これらの症状は、30～60分以内に消失します。また、注射の跡が内出血したりします。その他に、極稀ではありますが、頸部血腫を引き起こします。これは、特に、心筋梗塞や脳梗塞の治療や予防のために、血液の流れをよくする抗凝固剤や抗血小板剤などを服用していると発生しやすいため、これらの薬を服用していると神経ブロックはできませんので、事前に相談してください。